

「米国原子力発電所の遠隔モニタリング研究」

Ms. Phung Tran (米国電力研究所 EPRI, USA)

EPRI による RMT(Remote Monitoring Technology)への取り組みの紹介。

EPRI は RMT の有効利用の普及促進を目的として、以下の 3 項目から成る RMP プログラムを設定している。

- ・ サイト特化プロジェクト - RMT の実地評価、技術のデモンストレーション
- ・ RMT ワーキンググループ - 各種ガイドライン（導入、トレーニング）、利用事例のレポート
- ・ RMT 技術開発 - RMT の 3 次元リアルタイム線量データとの統合、ALARA 計画のフォロー、作業位置の補足等

RMT は遠隔より作業者をサポートすることで被ばく低減に効果的なツールであり、米国では停止時の検査作業での利用に加えて、運転時の利用が増加しつつある。又、被ばく低減以外の目的（振動検知、湿度温度、脈拍血圧、火災監視等）での使用も増加しているのも興味深く、今後の展開が注目される。

RP Job Coverage Using RMT

- RP organizational change
 - RMT Central RP Technician
 - RP Field Technician supporting the use of RMT
 - RMT System Administrators
 - Full coverage vs. intermittent coverage

Central RP Tech

Field Tech

Field Tech

EPRI | ELECTRIC POWER RESEARCH INSTITUTE

© 2007 Electric Power Research Institute, Inc. All rights reserved. 10

Integration of 3-D Imaging Technology with Real-Time Dose Rate Data for Advanced Job Planning

